

2018
11/25 回
13:00/16:00
清光寺 書院

ポカリン記憶舎 朗読劇 『ミチカケ』

上演時間：60分
開場：開演の20分前
受付開始：開演の30分前
※終演後、清光寺から品川宿入口
まで『ミチカケ』の舞台をガイドが
案内します。お気軽にご参加ください。
(約1.3km / 30分)

※会場・演出の都合により、開演後の入場をお断りする
場合があります。お早めにご来場ください。
6歳以下のお子様の入場をお断りします。

朗読・唄 町田カナ
二胡演奏 篠崎正嗣
作・演出 明神 慈
照明 木藤 歩
演出助手 海老原邦希
衣裳 キモノ時間ソレカラ
画 柳生忠平
G.デザイン 松本賭至
制作 ポカリン記憶舎
協力 清光寺 NPO 法人 S.A.I 六尺堂
Office Shrimp シバイエンジン
一般社団法人しながわ観光協会
品川宿交流館
後援 公益財団法人 品川文化振興事業団

◆発売日 9月30日(日)

◆チケット(ドリンク付)

椅子席:3000円 座布団席:2500円
U18割:1500円(高校生以下 要学生証)
当日券:3000円(若干有)

◆チケット取扱い

<https://bit.ly/2NkCpM0>
お問合せ:090-1040-0106(10~17時)
pocarine.r.t@gmail.com

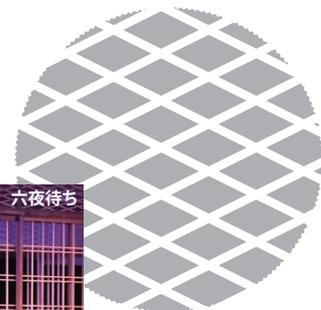
ポカリン記憶舎の作・演出を担う明神は、2013年のしながわ宿場まつりのイベント『品川浮き世絵巻』で遊女の振り付けをしたのをきっかけに品川宿に移住。2014年から毎年、品川アーティスト展で「品川の月」三部作『六夜待ち』『逃げ水』『ミチカケ』を発表。朗読劇『ミチカケ』は、幕末の旅籠屋の縁の下に住み着いた野良猫が、移り変わる時代の中、女郎や下女の心に寄り添い、力強く生きる日々を描いている。野良猫目線で幕末の品川宿を歩く心地になる秀作が、いよいよ南品川で再演される。



ミチカケ



品川浮き世絵巻



六夜待ち



花音



ワンダリング

作・演出：明神 慈

1997年よりポカリン記憶舎で公演活動開始。
詩的言語で俳優の動きや声に余韻が残る濃密な時空づくりで、観客を覚醒空間へ誘う。表現方法は演劇、朗読劇、音楽劇、フィジカルシアター、歌舞伎など多岐にわたる。その評価は「見えざる背後世界の眼差しに貫かれた作品」「脱魂へと誘うパフォーマンス」「肉体を超越した形而上学的な視座から、彼岸と比喩に別れた人間たちの煩悩を浄化する」「魂のサーカス」と評されている。海外公演や他団体への執筆、演出も多数。四国学院大学非常勤講師、キモノ時間ソレカラ店主、妖怪耳かきババアの耳かき屋。



品川区南品川 4-2-8
JR 品川駅 高輪口徒歩 20分
京浜急行線新馬場駅 南口徒歩 3分

『ミチカケ』公演サイト <http://www.myojin-yasu.jp/>